

編の町下の編訪報 第2区広報

発行日 令和6年12月20日
令和6年度 2号
発行責任者 区長 山田昌宏
編集責任者 事務局 山田道宏



一年間大変お世話になりました

区長退任に当たり区民の皆さん方には、区行政にご理解と御協力を賜り感謝申し上げます。

二区は、人口の減少、高齢化、独居老人世帯の増加の中、現在三百五十三世帯であり年度当初より十世帯が減り急速に世帯数の減少が進んでおります。

そこで昨年度より区長の諮問委員会として「第二区行財政委員会」を立ち上げました。昨年度は、財政改革を行い、本年度は行政改革に取り組みました。

行財政委員会の皆様方には二年間で三十回程の会議を開催していただき、区長に答申書が出されました。

私は、答申内容を区議会に上程し臨時区議会を九回経て丁寧に議論され十一月二十日に議決されました。

次年度副区長の選出では、町内ごとの輪番制を廃止し、選考委員会での選出を導入し区議会議員も各町一人をやめ約五十軒から一人を選出し十人から八人体制に削減しました。



諏訪大社祭典委員会は、氏子総代会が大総代を中心に祭典委員会や実行委員会を運営し区長の負担を軽減し区長は区行政に専念していただけるようになっていきます。

防災フェステバル



下諏訪市民新聞提供

六月には防災フェステバルを大雨の中、雨が降ろうが災害はおきるとの思いで決行いたしました。

消防第二分団、自主防災会、第二区分館の方々、町内会長会、区議会議員の方々にご協力をお願いいただき、全国から三十事業者が参加し、下諏訪町と共催し雨の中、区民の皆様方をはじめ六百人以上の方々にご来場いただきました。

災害は公助に頼るよりもまず自助です。当たり前のことを再認識しました。自分の命は、自分で守り家族の命を守る事です。これが防災の大切な事であり、これは隣近所の声掛けです。後には隣近所の声掛けです。日頃から班や町内のコミュニケーションが防災の一番大切な鍵になるのだと感じる事が出来ました。

また下諏訪町から補助金をいただき、二区からの持ち出し費用が五万円弱ですむことができました。

今後は、町の補助金等の活用をより考えた区の運営を望むところです。本年度は、特に各地区の危険箇所や道路改修など各町内会長より提出していただき下諏訪町で一番多く改修工事などをしていただきました。



来年度からは新規約の中、新区長 両角勝敏さん、副区長 大木 齊さん、会計 釜洞修一さんの三役にバトンタッチ致します。尚事務局を奥村 守司さんです。本年度同様に皆様方の御意見ご要望を区長に気楽にお声掛けください。

最後に、区民の皆様にご支えていただき区運営が出来ました事にお礼を申し上げます。有難うございました。楽しく安全で住みやすい地域であります様に。

各事業写真

消火栓放水訓練



土嚢作成訓練



危険箇所点検

